

サテライト 蜻蛉リハビリだより

2月号

ICFの「活動・参加」と QOLの関係って??

疾病や障害により、様々な行為が困難となった状況を総合的に理解する考えが「ICF」です。

ICFの

- ・活動レベルとして
ADL・IADLが出来るようになる
- ・参加レベルとして 「役に立てる」
「認めてもらえる」「やりがいを見出す」

この参加レベルへ支援することが利用者の「QOL向上」に繋がると考えています。

今回、高齢者でよく取り組まれている「塗り絵」を個人の価値に寄り添った活動へ支援し、QOL向上に至った事例を紹介させていただきます。



いつからでも趣味は始められる

90歳代女性の方で、以前は文楽が好きでボランティアで説明のガイドをされていました。通所をご利用されてから川柳と塗り絵を始め、現在は社会参加としても取り組まれるようになりました。



施設・自宅の活動から社会参加へ

川柳は、クラブ活動中や自宅で季節を感じる日々の出来事を思い出して作成されています。作品は毎月施設内に展示し、新聞にも投稿されています。塗り絵は、利用者の方に教えてもらいつつ作成され、完成した作品は川柳と同様に毎月展示しています。また1年に1度開催されている公募展にも出展されています。どちらの活動も材料の購入から、書類の手続き、ポストへの投函まで自身で行われています。

想いを理解して支援する

川柳は皆の作品を参考にし、塗り絵は立体感を意識して塗り重ね、もっと上手にできるようにと向上心を持っておられます。作品は皆に見てほしい、出展の機会があることで頑張ろうという気持ちになると話されています。この方にとっては身近な方など社会の誰かに認めてもらう機会があることが大事と考えられるため、今後も定期的に想いや考えをお聞きし、継続できるように支援していきます。

クラブ活動紹介

VOL.4

対象者
募集中!!

今回は蜻蛉でしているクラブ活動の意味合いについて紹介します!

リハビリテーションの一環として毎日2~4種目の活動を介護職員の司会進行にて提供しています。

支援する時に利用者がやる気を持って前向きに取り組めるように、

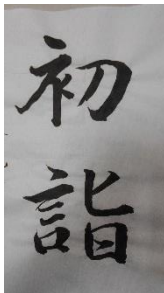
- ①活動は自身で決める
- ②自信が持てるように関わる
- ③役割を担う
- ④交流にてお互いを認め合えるよう

リハビリ職員はその人らしく取り組めるように評価や面談を行います。



12月に折り紙を使って皆で1つの作品を作りました。どんな作品にするか、誰がどこを作るか役割分担も相談しながら作成しました。作成中良いアイデアが出た時や上手く出来ている所はお互い称賛し合い、頑張ろうと励まし合って作成されました。

利用者作品紹介 ~習字~



昔していた「書くこと」をもう一度挑戦しようと思い、取り組んでおられるAさん。今までは借りた手本を写して稽古していましたが、最近は自分で手本を作るつもりで書いています。「楽しい稽古です」と意欲が向上し、頑張っています。



ご連絡おまちしております!!

介護老人保健施設鴻池荘

サテライト蜻蛉

TEL 0745(65)2201

FAX 0745(65)2250

担当者：近藤、石田

ご利用に関する手続きや説明等は相談員がご自宅までお伺いします



ホームページ
更新中